

# 今月の人

人材バンクより南国市の生涯学習に深く寄与して下さる方を紹介していきます。今回は、島崎利昭さんです。



島崎利昭さん  
(比江)  
市民生活・国際関係

大正8年9月、比江の永源寺に生まれる。若いころに全国各地で修行をし、福井県永平寺で住職の資格を取りました。

終戦後、永源寺へと戻り、住職の役目を果たす傍ら、県警察学校などへ出向き、精神修養の大切さを説いてきました。

現在、島崎さんは、病も死もすべて自然のもの、これらを怖れず、年を取ることを楽しもう。青春は年齢では決まらないという持論のもと、県内の老人会や刑務所で禅の思想を取り入れた講話をしています。

また、座禅を組み精神をきたえようと、週2回永源寺で行っている参禅道場には、武道家やスポーツ選手などを含め、毎回10人ほどが参加しているそうです。

まほろば

美術の秋のファイナーレを飾った第三十四回南国市美術展も盛況裏に終了し、その特選作品が新春の本紙に掲載されているのは、新しい年を迎え我が南国市の芸術文化の発展を約束するようであるに喜ばしい。

南国市内には、芸術文化の各分野で、高い評価を受けて活躍している作家やグループが多い。しかし、その方たちの発表の場は、市展と文化祭を除いて、市内に適当なホールやギャラリーがないために、すべて市外の施設が利用されているのは残念である。また、南国市最大の文化行事である市展や文化祭も体育館を使っているため、スポンサー愛好者からの不満もある。隣の町には、公立の美術館がオープンしたし、すばらしい展示場を備えた図書館のある町もある。名実ともに副都府をめざす南国市として、文化の発信基地としての文化会館——イス席とフロアを備えた——と市民が気軽に使用できる市民ギャラリーや図書館などの文化施設を早急に実現させたいものである。

## 短歌

淋しきは人にもつけず張りつめて  
明るく振るまい服すすめおり  
立田 北村 幸江

夕あかり風か残れる西空に  
磨がれしごとき新月の照る  
西島 門田美枝子

幾多の想ひの限りを秘めしまま  
歳晚の一日何なく過ぎ速く  
三 高 有元 一馬

しまい湯に身を沈めて目つむれば  
夢もうつつもなべて去来す  
久礼田 澤村 義正

鮮文目に忙がめ足をなだめつつ  
腰掛眺むる櫻の落葉  
大塚 田所 志春

## 俳句

山茶花は大雪きてもめげずさく  
緑ヶ丘 細美じゆき

今年こそ今年こそわと年始め  
十市 加川 須磨

元旦にすすめのこと世があける  
十市 北村 愛

## 川柳

耳聾料でも年のせいだと又云われ  
田村 中沢 節

初川柳ただ祖母のみが大笑い  
立田 北村 和彦

オベの朝血正井の危鳴聞く  
古市 島田八重子

紙舟のかくし縫上げ七五三  
前浜 竹村 福女

立冬の海おだやかに波止鶴  
前浜 高木 喜美

あめご飼ふ冬の湯井の奔々  
野田 門田 郁子

大波り鳥大空を使いきる  
城ノ内 北川 高子

髪売りの女の無口しぐれ虹  
金地 西木かよ子

焚火膝横に列れた椅子ひとつ  
福 船 和田ひでみ

一人居の鳥ぐてもなま冬仕度  
大塚 小松 千都

天平の土壇に美男かずらの實  
大塚 竹田 明代

枯蓮の沼に崎さそめし星  
前浜 岩城 麗水

### 市の統計

面積	125.11km <sup>2</sup>
人口	48,280人 (-20)
男	23,120人 (-11)
女	25,160人 (-9)
世帯数	17,963世帯 (+5)
( )内は前月比	
《平成6年11月30日現在》	

### 火災・救急

《火災》		《救急》	
発生件数	2件	出動回数	126回
建物	1件	急病	47回
山林	0件	交通事故	27回
その他	1件	一般事故	28回
被害額	2,320万円	その他	24回
		《平成6年11月分》	

広報は、地区連絡員さんたちのご協力で皆さんの家庭にお届けしています。